

2025年3月期 決算説明会



株式会社エーアンドエーマテリアル

2025年6月10日

証券コード
5391

Vision2033

地球の未来を



1

2025年3月期 決算実績

2

2026年3月期 業績予想

3

中長期経営計画 進捗状況

2025年3月期 業績総括

売上高

43,421百万円

対前年増減率
+5.2%

売上高 +2,139 百万円

営業利益

1,916百万円

対前年増減率
△17.3%

営業利益 △402 百万円

当期純損失

120百万円

対前年増減率
－%

当期純利益 △2,819 百万円

増加要因

価格改定効果 (+1,075百万円)

M&Aによる増加 (+1,064百万円)

減少要因

価格改定効果 (+639百万円)

M&Aによる増加 (+94百万円)

原燃料・人件費増加 (△694百万円)

M&A関連費用 (△237百万円)

本社移転 (△117百万円)

不動産売却益 (+1,306百万円)

投資有価証券売却益 (+61百万円)

不動産売却益(前年) (△1,435百万円)

訴訟損失引当金 (△2,087百万円)

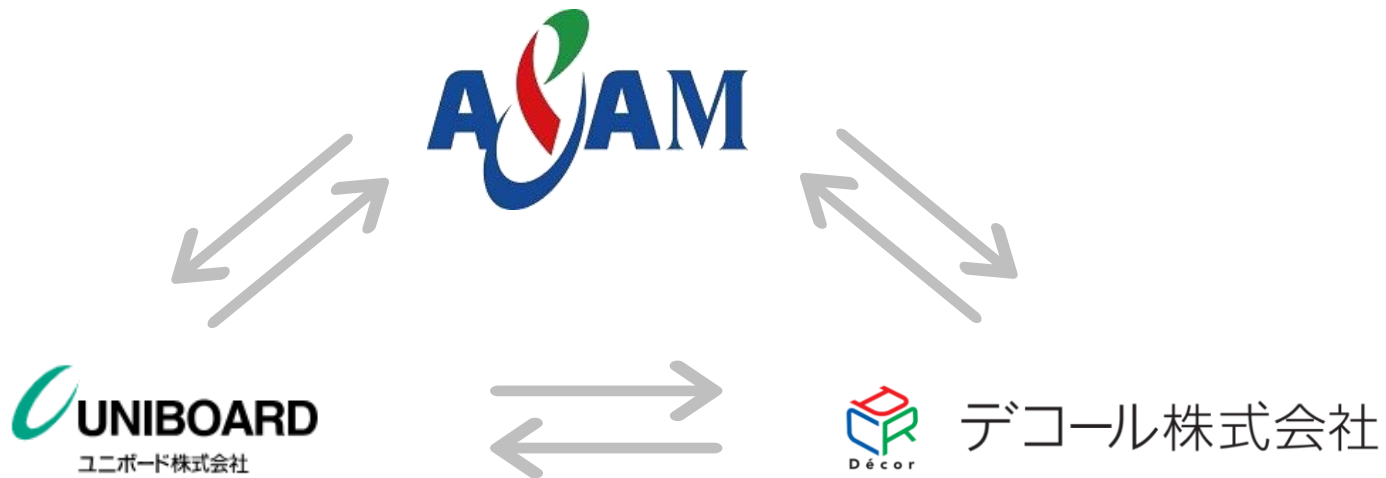
固定資産除却損 (△201百万円)

一過性の費用

2024年度 取り組み実績（M & A）

下記の2件のM&Aを実施

- ・ 2024年10月に大昭和ユニボード株式会社（現ユニボード株式会社）
- ・ 2025年4月にDICデコール株式会社（現デコール株式会社）



事業内容：低圧メラミン化粧板の製造販売

売上高：**19**億円 (2023年度)

資本金：**490**百万円

事業内容：化粧板および印刷シートの製造販売

売上高：**48**億円 (2023年度)

資本金：**480**百万円

様々な部署の若手社員が「どのような働き方をしたいか」「どのような職場で働きたいか」を洗い出し、具体化した人事制度を2025年4月より導入

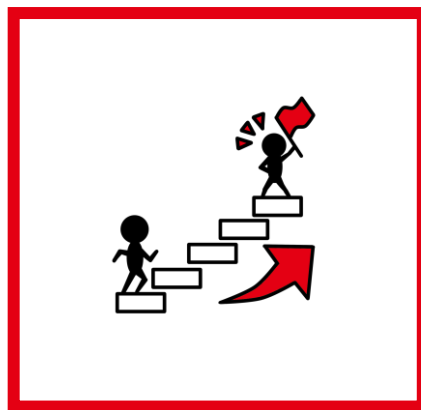
新人事制度の3本柱

原則転勤なし



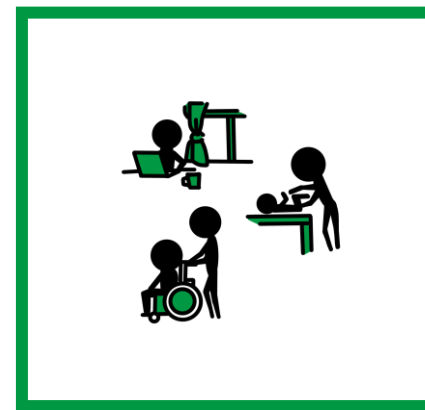
- ・管理職以外は原則転勤なし
- ・管理職も転勤ありなしコースを選択可

キャリアパスを支援



- ・従業員自身が将来的な「ありたい姿」になるための目標を考え、それを実現できるように取り組む制度を導入

様々な働き方の支援



- ・フレックスタイム制度の導入
- ・テレワーク勤務の促進
- ・健康経営優良法人2025認定
- ・くるみん認定
（子育てサポート企業）

2024年度 取り組み実績（働き方改革②）

2025年2月に**本社を移転**し、働き方の多様化、従業員エンゲージメントなどの働き方改革を実施

執務室エリア

フロアを集約し、フリーアドレスを導入したことで、コミュニケーションの活性化

カフェエリア

リラックスした雰囲気、
昼食はもちろんのこと、
業務をすることも可能で
あり、社員間のコミュニ
ケーションの活性化

打ち合わせエリア

眺望の良い場所でリラックス
しながら打ち合わせが可能

カフェエリア

1人で使用できる場所もあるため、集中したいとき
や一人で昼食を取りたい
場合はこの場所を使用す
ることが可能

2025年 3 月期 セグメント別業績概要



(単位：百万円)

		2024年3月期 (実績)	2025年3月期 (実績)	対前年 増減額	対前年 増減率
建 材 事 業	売 上 高	17,584	18,688	+1,103	+6.3%
	セグメント 利 益	2,640	2,450	△189	△7.2%
工 業 製 品 事 業	売 上 高	23,637	24,675	+1,037	+4.4%
	セグメント 利 益	1,153	1,414	+260	+22.5%

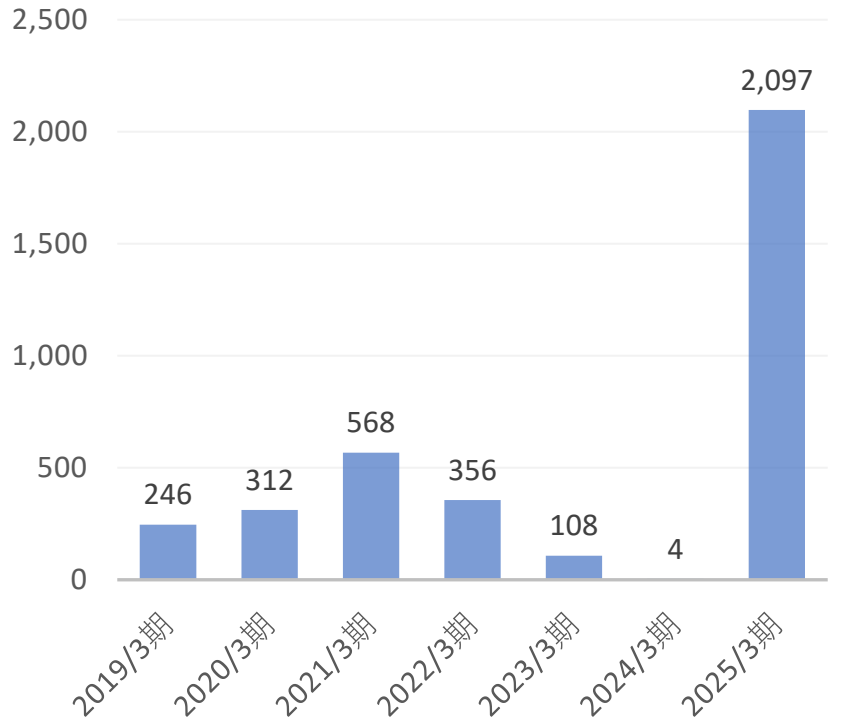
アスベスト訴訟関係

引当金計上条件

高等裁判所及び最高裁判所の判決内容に基づき、合理的に見積もりをした金額にて計上

引当金期末残高推移

(単位：百万円)



2024年度訴訟損失引当金計上

2,097百万円

訴訟損失引当金計上の内訳

《判決に基づく引当金》

- ・ 横浜第1陣集団訴訟 Δ 4百万円
- ・ 札幌第2陣集団訴訟 135百万円

《和解案に基づく引当金》

- ・ 東京第1陣集団訴訟 1,206百万円
- ・ 東京第2陣集団訴訟 426百万円
- ・ 大阪第2陣・3陣集団訴訟 328百万円

将来の損失への備えとして引当金を計上

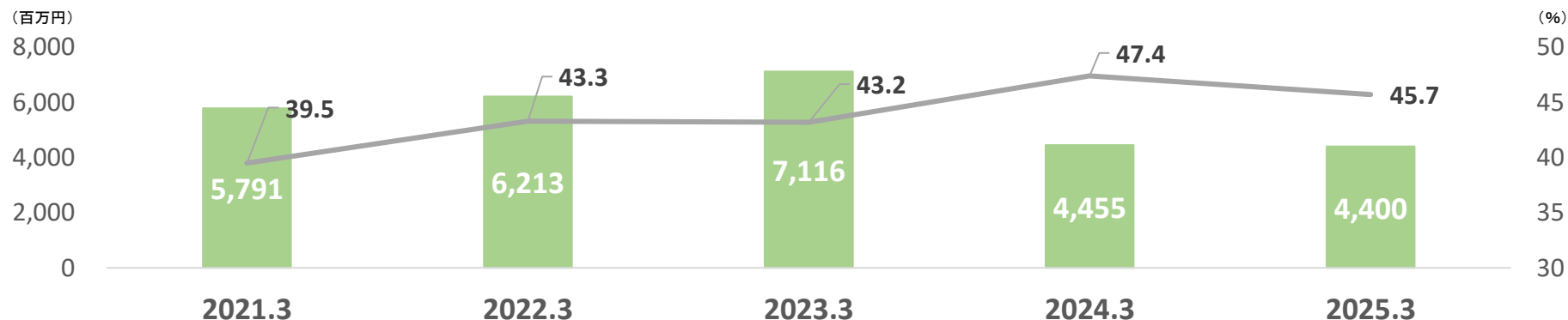
2025年3月期 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	24年3月末	25年3月末	増減
流動資産	20,287	18,620	△ 1,667
現預金	2,570	665	△ 1,904
売掛債権	13,205	12,233	△ 972
棚卸資産	3,249	3,722	+473
その他	1,263	1,999	+ 736
固定資産	19,664	22,217	+ 2,552
有形固定資産	18,068	20,166	+ 2,098
無形固定資産	481	789	+ 308
その他	1,115	1,262	+ 146
資産 計	39,952	40,837	+ 885

	24年3月末	25年3月末	増減
流動負債	14,928	13,260	△ 1,668
仕入債務	5,570	5,282	△ 288
短期借入金	4,456	3,732	△ 723
その他	4,902	4,246	△ 656
固定負債	6,091	8,924	+ 2,833
長期借入金	0	668	+ 668
その他	6,091	8,256	+ 2,165
負債 計	21,019	22,185	+ 1,165
純資産 計	18,932	18,652	△ 279

有利子負債および自己資本比率の推移



1**2025年3月期 決算実績****2****2026年3月期 業績予想****3****中長期経営計画 進捗状況**

2026年 3 月期 業績予想総括

売上高

49,300百万円

対前年増減率
+13.5% 

営業利益

2,500百万円

対前年増減率
+30.4% 

当期純利益

1,900百万円

対前年増減率
— % 

売上高 +5,879 百万円

営業利益 +584 百万円

当期純利益 +2,020 百万円

増加要因	売上拡大およびM&Aによる増加 (+5,879百万円)	売上拡大およびM&Aによる増加 (+347百万円)	訴訟損減少失引当金 (+2,097百万円)
		M&A費用減少 一過性の費用 (+237百万円)	負ののれん発生益 (+800百万円)
			M&A費用減少 (+237百万円)
減少要因			固定資産売却益減少 (△1,306百万円)

2026年 3 月期 セグメント別業績予想

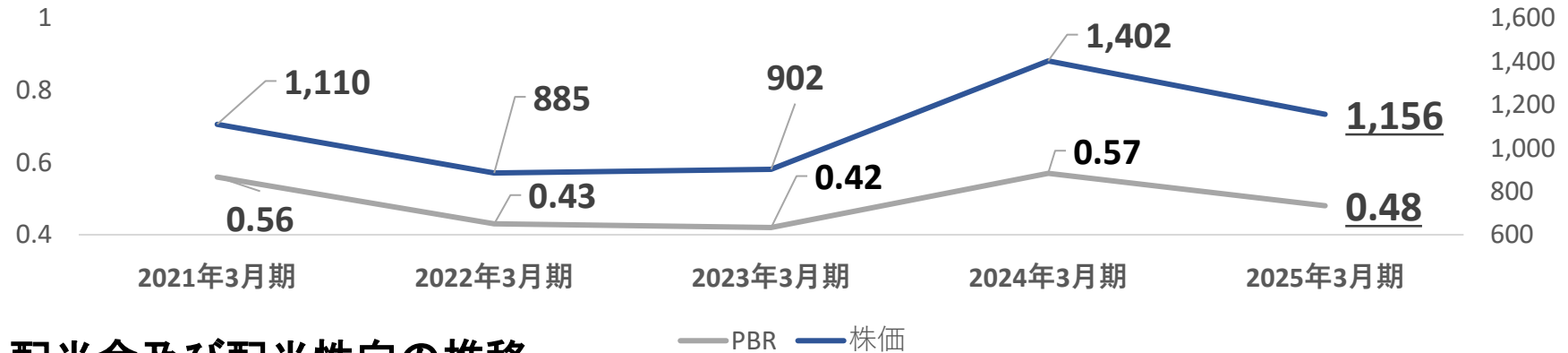
(単位：百万円)

		2025年 3月期 (実績)	2026年 3月期 (予想)	増減額	増減率	主な増減理由
建 材 事 業	売 上 高	18,688	24,023	+5,335	+28.5%	・ 戦略的M&Aによる 事業規模の拡大お よびシナジー効果 の創出
	セグメント利益	2,450	2,635	+185	+7.6%	・ BEO NA(ベオナ)を 始めとした新商品 の拡販
工 業 製 品 事 業	売 上 高	24,675	25,220	+545	+2.2%	・ LNG燃料船タンク保冷 工事など高利益率 物件の完工増
	セグメント利益	1,414	1,513	+99	+7.0%	・ プラント関連の大型 工事の完工増

PBRの推移及び株主還元

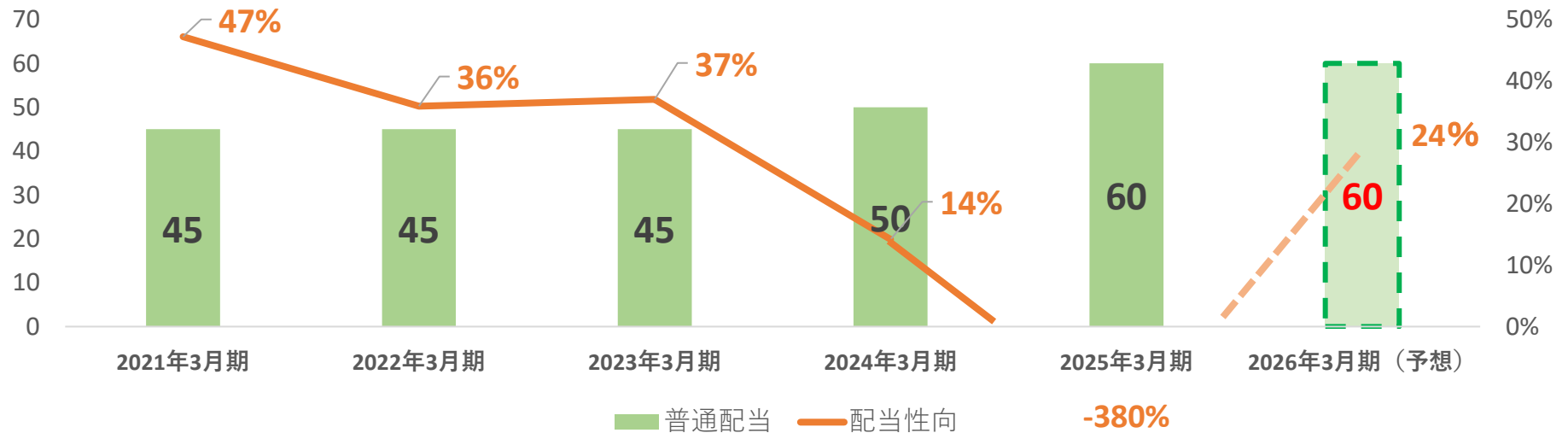
PBR（株価純資産倍率）及び株価の推移

（単位：円）



配当金及び配当性向の推移

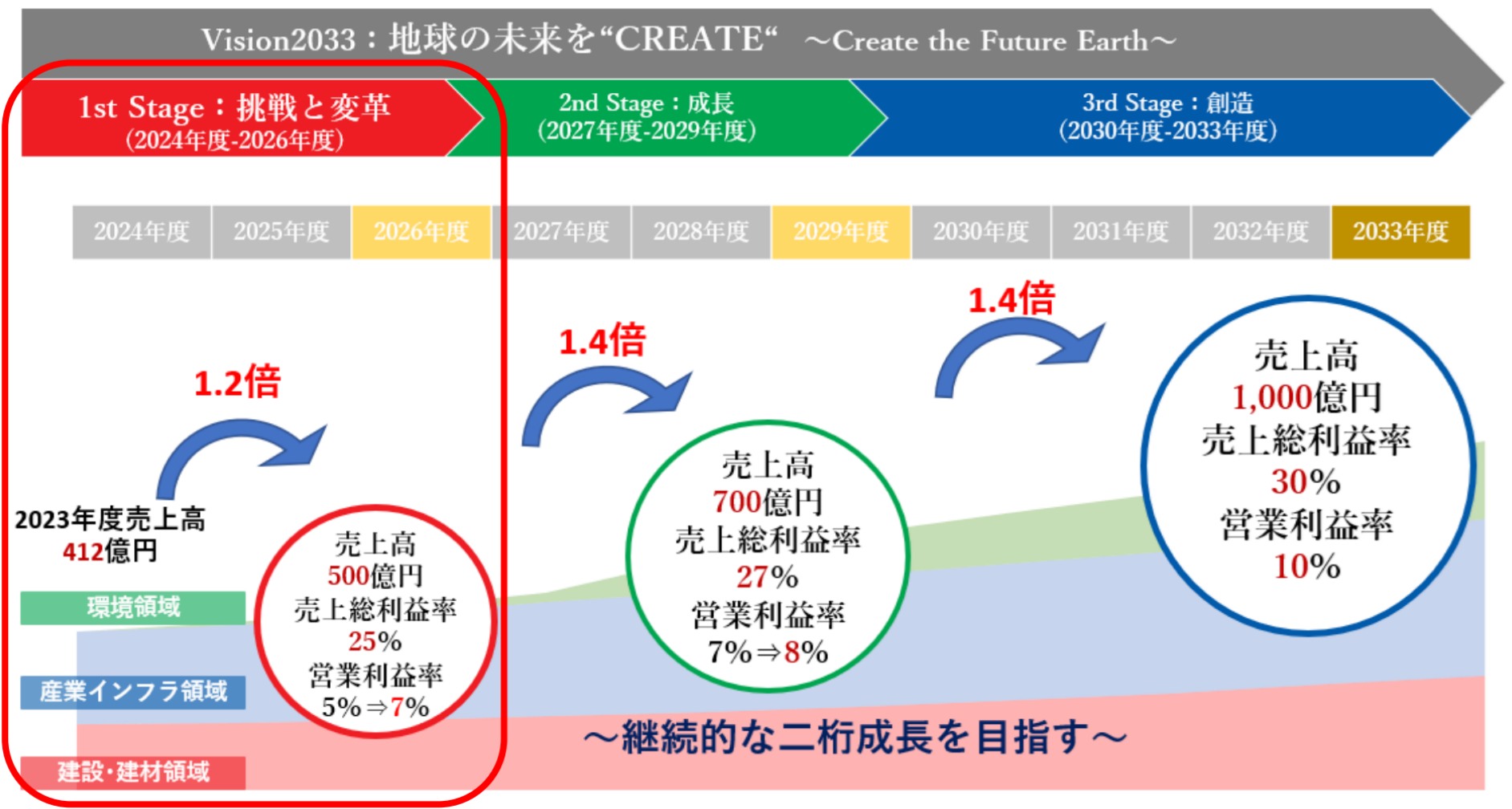
（単位：円）



2026年3月期は事業拡大を目的とした投資を優先的に実施

1**2025年3月期 決算実績****2****2026年3月期 業績予想****3****中長期経営計画 進捗状況**

Vision2033における2026中期経営計画の位置づけ



2026中期経営計画における2024年度取り組み事項



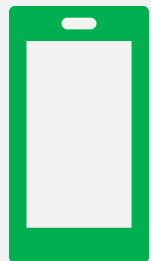
新ビジネスモデルとコーポレートブランドの確立による収益拡大

- ・ 本社移転に伴うブランド力の強化
- ・ Instagramを活用した積極的な情報発信



戦略的M&Aによる事業規模の拡大

- ・ 2024年10月：大昭和ユニボード株式会社の全株式取得
(現 ユニボード株式会社)
- ・ 2025年4月：DICデコール株式会社の全株式取得
(現 デコール株式会社)

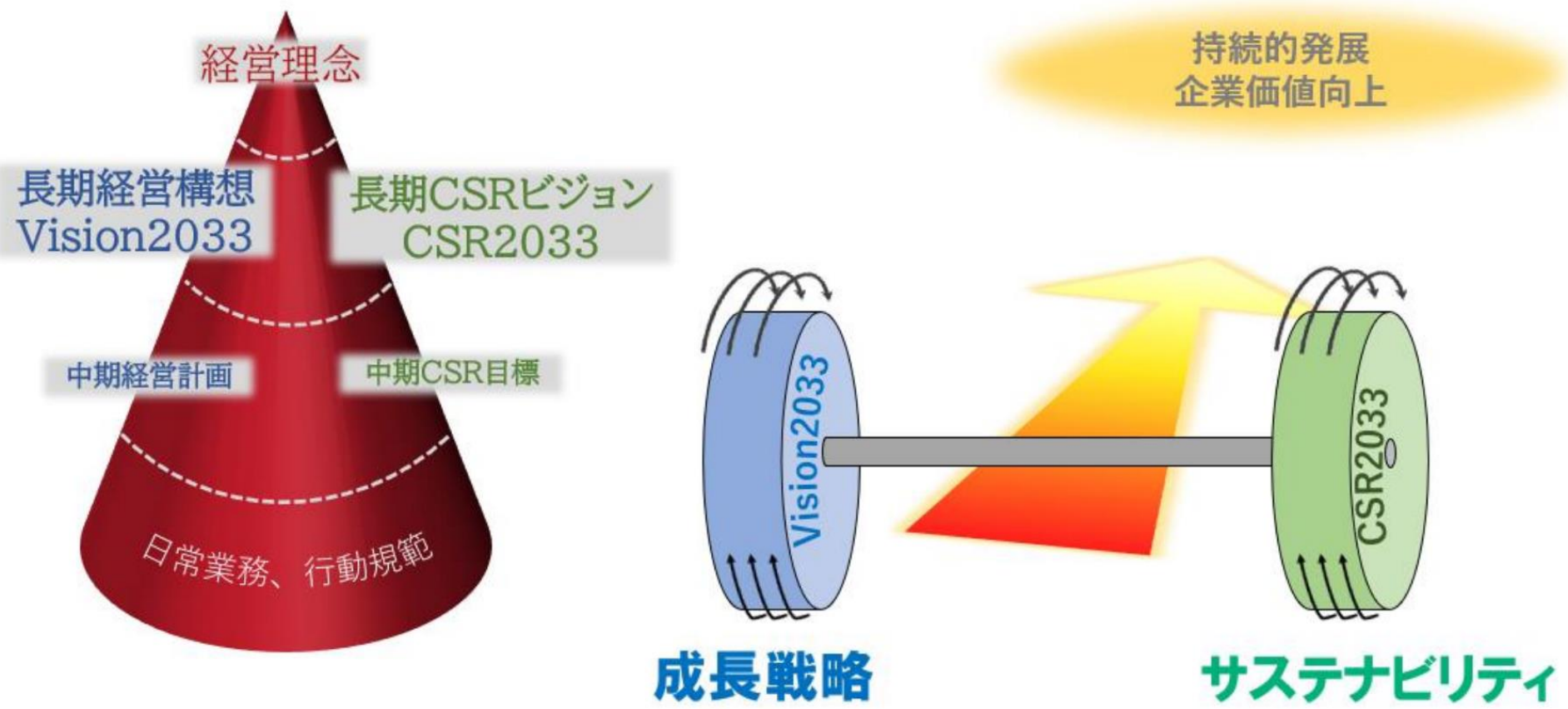


DX基盤整備による業務改革の実現

- ・ 新基幹システムの開発、着手
- ・ 生産現場の見える化

サステナビリティへの取り組み

2026中期経営計画においては、主要施策に掲げた成長戦略とCSR2033のESG課題への取り組みを相乗的に推進します



環境分野の活動状況

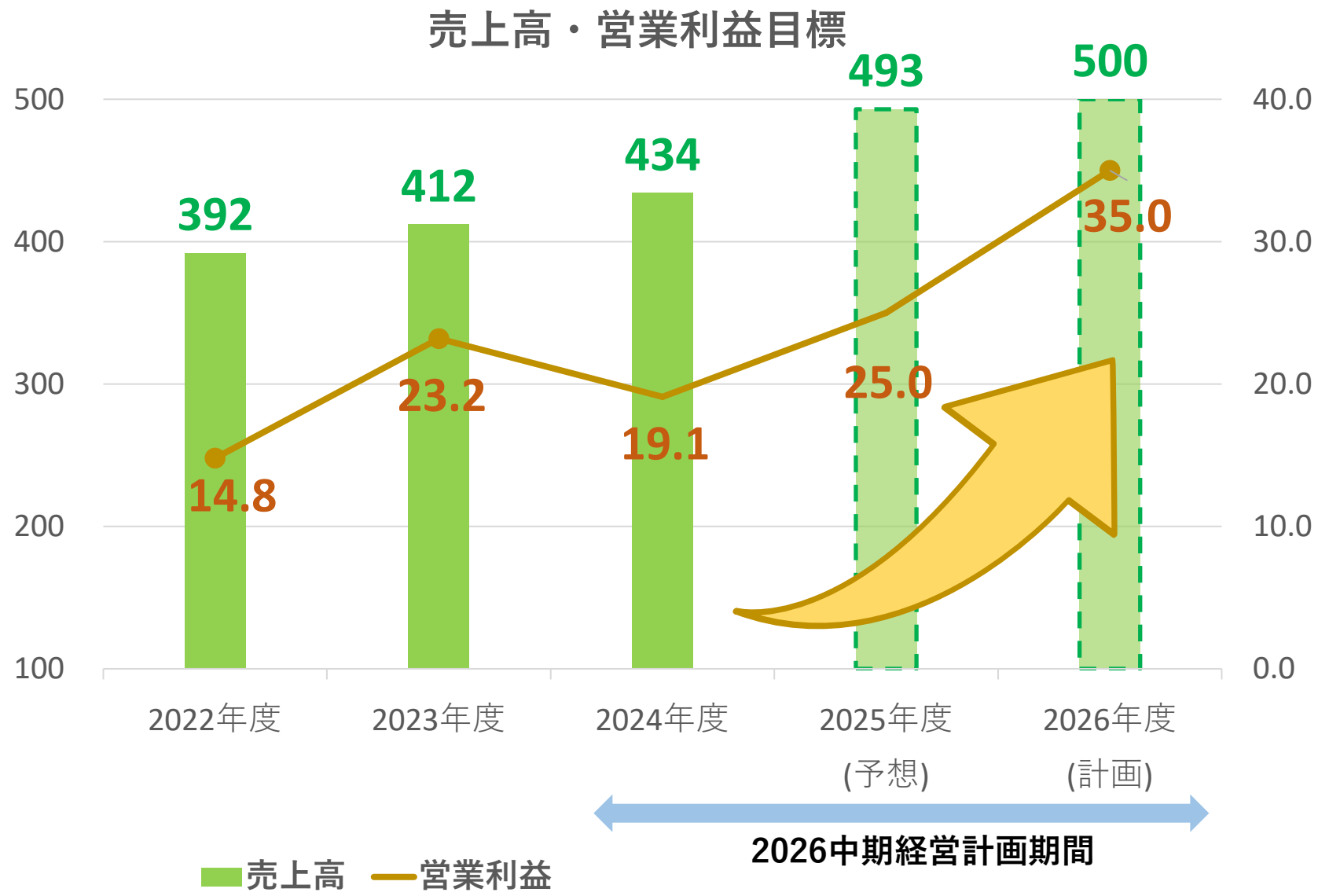
サステナビリティ方針 取り組み課題		CSR2033長期目標および 2026年度までの活動目標	2024年度実績
気候変動への対応に向けたGHG削減	2033年度：当社グループのCO2売上高単位を2013年度比 50% 削減する 2026年度：2013年度比 40% 削減		30%削減 2013年度比
	2033年度：事業活動に伴う廃棄物の再生利用率 96% 以上 2026年度：再生利用率 85% 以上		85.4% 2026年度目標達成
	ISOの維持管理を充実させ、積極的な開示を実施する		エーアンドエー茨城、エーアンドエー大阪、アスクテクニカにてISO14001を取得しており、外部機関によるサーベイランスを維持
気候変動に対する戦略	水資源の適正利用を推進する		工業用水と市水のデータを収集し、適正管理を徹底および循環利用
	年1製品以上の環境配慮型製品の開発		コンクリート調インテリアボード（BEoNA）

社会分野の活動状況

サステナビリティ方針 取り組み課題	CSR2033長期目標および 2026年度までの活動目標	2024年度実績
快適な職場づくりとダイバーシティの推進	人権方針の制定およびそれに基づく事業活動の推進	2024年4月1日制定 人権研修の実施
	2026年度までにくるみん認定	2024年度認定 取得済
	健康経営優良法人の認定取得	2024年度認定 取得済
	2033年度：正社員における女性比率 30%以上 2026年度： 20%以上	24.2% 2026年度目標達成
	2033年度：管理職における女性比率 10%以上 2026年度： 5%以上	4.1%
顧客に対する責任と信頼関係の構築	新たな製品・工事・サービスの市場への投入	コンクリート調インテリアボード（BEoNA）
地域社会とのコミュニケーション	各事業場の社会貢献活動推進	公共施設へのネーミングライツ取得（アスクテクニカ）
	地域環境保護のためのコミュニケーション活動推進	環境遵守状況の地域住民連絡会（エーアンドエー大阪）

 ガバナンス分野の活動状況

サステナビリティ方針 取り組み課題	CSR2033長期目標および 2026年度までの活動目標	2024年度実績
ガバナンス強化	東証プライム市場の上場基準に適合する ガバナンス体制の維持継続	維持継続
	社外取締役1/3以上の確保（継続維持）	社外取締役1/3以上の確保
	女性役員の選任 （取締役、監査役 各1名以上の選任）	取締役、監査役に女性役員を1名 選任
腐敗防止	腐敗防止を含むコンプライアンス基本方 針の整備と運用	コンプライアンス研修にて腐敗防止 の理解と重要性を認識
	ヘルプライン制度の利用実績の開示 （実効性向上への取り組み）	統合報告書にて開示



コンクリート調インテリアボード【BEoNA】

BEoNAは、**塗料などの化学物質を使用せず**にセメント素材が本来持つ風合い意匠性にした環境に配慮した製品。



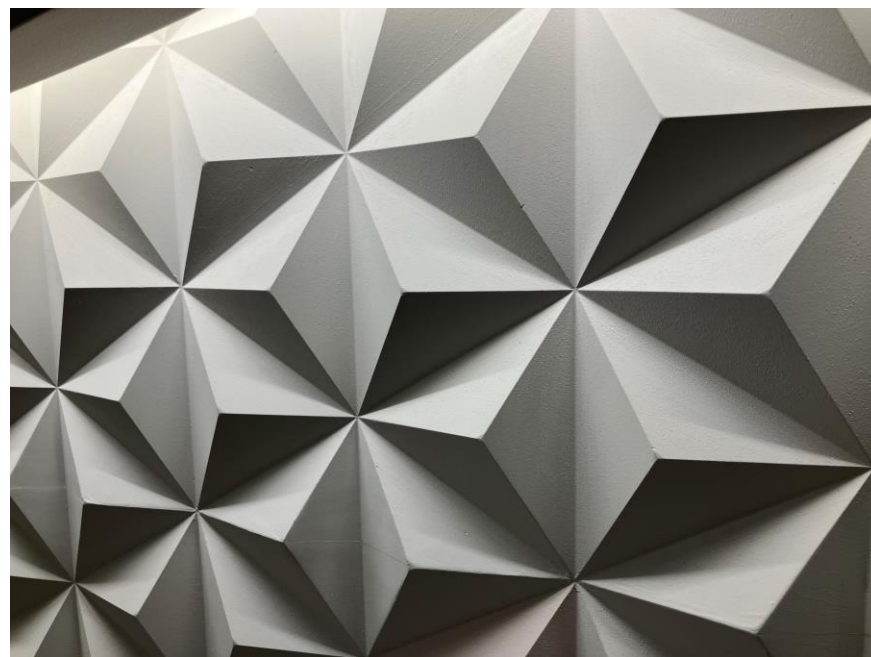
特徴

- 1) セメント素材特有の風合い
- 2) 高強度で優れた寸法安定性
- 3) 接着張り工法で意匠性向上

無機質系人造木材【オーエスライトW】



木材の三大欠点である「燃える・腐る・狂う」を克服し、なおかつ木材の加工性も兼ね備えた建築材料。空港・ホテル・ブランドショップなど多くの建物の内装材に使用する。



特徴

- 1) 不燃性
- 2) 加工性
- 3) 寸法安定性
- 4) くぎ・木ねじ保持力

散布型除菌剤【ヨドックス粒®】

特徴

- 1) 弱酸性で動植物にやさしい成分
- 2) 2ヵ月以上の耐久性
- 3) 散布が気軽にできる

ヨドックス粒4つの防疫対策

屋外防疫

鶏舎や鶏展示舎の
周辺に散布

屋内防疫

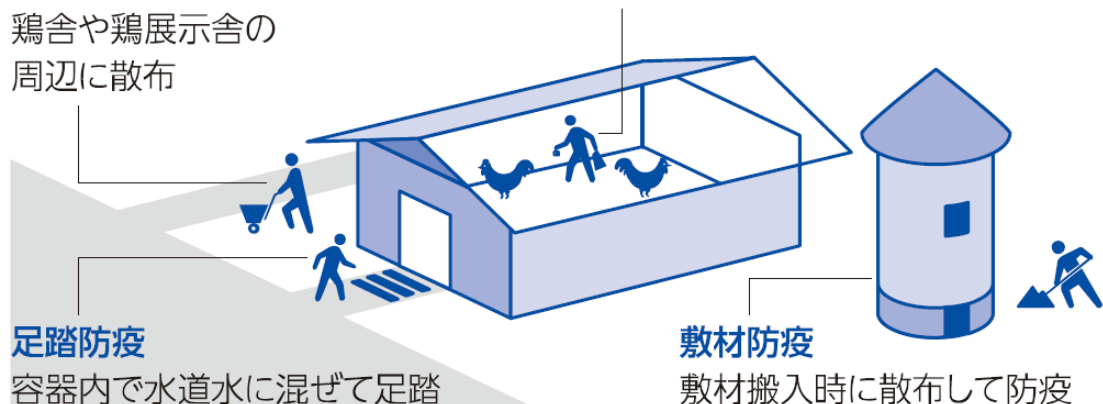
鶏舎や鶏展示舎の床面に散布

足踏防疫

容器内で水道水に混ぜて足踏

敷材防疫

敷材搬入時に散布して防疫



実際の散布状況



家庭用の鳥かご用敷き材を
メルカリShopsで販売

ご視聴ありがとうございました



株式会社 エーアンドエー マテリアル

質疑応答



株式会社 エーアンドエー マテリアル